



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東 大

上場会社名 キックマン株式会社

コード番号 2801 URL <http://www.kikkoman.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 染谷 光男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	147,158	3.8	10,356	10.6	9,207	12.6	4,805	9.4
24年3月期第2四半期	141,834	△1.2	9,363	△9.0	8,176	△9.8	4,391	△3.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 792百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △1,587百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	23.84	—
24年3月期第2四半期	21.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	305,642	160,171	51.9
24年3月期	331,371	167,352	50.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 158,523百万円 24年3月期 165,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,000	4.5	19,500	9.8	17,200	12.8	10,000	11.3	49.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	210,383,202 株	24年3月期	210,383,202 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	10,607,753 株	24年3月期	5,331,687 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	201,545,443 株	24年3月期2Q	205,118,550 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通しの等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 6 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

第2四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。

当社は、平成24年11月2日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する第2四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) セグメント情報等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期における世界経済は、アメリカで緩やかに景気が回復しているものの、欧州は財政不安を背景に景気の下振れリスクを抱え、全体として回復は鈍いものとなっております。日本経済は世界景気の減速等を背景として、回復の動きは鈍く、足踏み状態となっております。

このような状況下における、当社グループの売上は、国内については、しょうゆは前年同期並みとなり、食品、酒類が売上を伸ばし、飲料が大きく伸長したことにより食料品製造・販売は前年同期を上回りました。海外については、しょうゆは現地通貨ベースで、北米・欧州を中心に順調に売上を伸ばし、食料品卸売事業も好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第2四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位 百万円, %)

区分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	23年4月1日～ 23年9月30日		24年4月1日～ 24年9月30日		金額	%	売上 比差		金額	%
	金額	売上比	金額	売上比						
売上高	141,834	100.0	147,158	100.0	5,323	103.8	—	△1,240	6,564	104.6
営業利益	9,363	6.6	10,356	7.0	992	110.6	0.4	△211	1,204	112.9
経常利益	8,176	5.8	9,207	6.3	1,031	112.6	0.5	△189	1,221	114.9
四半期純利益	4,391	3.1	4,805	3.3	414	109.4	0.2	△133	547	112.5
	USD	79.73	79.43		△0.30					
	EUR	114.09	101.12		△12.97					

<報告セグメント>

(単位 百万円, %)

区分		前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
		23年4月1日～ 23年9月30日		24年4月1日～ 24年9月30日		金額	%	売上 比差		金額	%
		金額	売上比	金額	売上比						
国内 食料品製造 ・販売	売上高	73,772	100.0	78,702	100.0	4,929	106.7	—	—	4,929	106.7
	営業利益	2,180	3.0	3,331	4.2	1,150	152.8	1.3	—	1,150	152.8
国内 その他	売上高	10,280	100.0	10,213	100.0	△67	99.3	—	—	△67	99.3
	営業利益	857	8.3	757	7.4	△100	88.3	△0.9	—	△100	88.3
海外 食料品製造 ・販売	売上高	23,853	100.0	24,347	100.0	494	102.1	—	△591	1,086	104.6
	営業利益	4,271	17.9	4,589	18.9	318	107.5	0.9	△140	458	110.7
海外 食料品卸売	売上高	43,722	100.0	43,730	100.0	7	100.0	—	△721	728	101.7
	営業利益	2,051	4.7	1,916	4.4	△134	93.4	△0.3	△43	△91	95.5
調整額	売上高	△9,794	100.0	△9,834	100.0	△39	—	—	72	△112	—
	営業利益	3	—	△238	—	△242	—	—	△28	△213	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売上高	141,834	100.0	147,158	100.0	5,323	103.8	—	△1,240	6,564	104.6
	営業利益	9,363	6.6	10,356	7.0	992	110.6	0.4	△211	1,204	112.9
	USD	79.73		79.43		△0.30					
	EUR	114.09		101.12		△12.97					

各報告セグメントの状況は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、既存商品は引き続き減少傾向にありますが、生しょうゆの「いつでも新鮮」シリーズで「やわらか密封ボトル」450mlを発売し、好調な200mlボトルと併せて、減少傾向に歯止めをかけました。また、当四半期より発売した顆粒タイプの「旨粒しょうゆ」も売上増に貢献しました。しかし、加工・業務用分野は市場環境が厳しく、前年同期を下回りました。この結果、部門全体として前年同期並みとなりました。

■食品部門

つゆ類は、家庭用分野では、前期より導入の「からめる具麺ソース」が好調に推移し、加工・業務用分野も売上を伸ばしたものの、主力商品の「本つゆ」やストレートつゆの既存商品が振るわず、つゆ類全体として前年同期の売上を下回りました。たれ類は、加工・業務用分野の商品や、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」、「ステーキしょうゆ」等が堅調に売上を伸ばし、たれ類全体として前年同期の売上を上回りました。「うちのごはん」は、積極的な新商品開発や店頭販促活動を行ない、また、ボックス型の紙容器に食材1品を加えて作る「できたてMy Deli」シリーズ等で新顧客を開拓し、前年同期の売上を上回りました。「洋ごはん☆つくろ」シリーズも好調に推移し前年同期の売上を上回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、飲用だけでなく料理用として訴求する等、テレビや雑誌などの各メディアと連携を図りながら、市場拡大につながる販促活動を積極的に実施し、好調に推移しました。デルモンテ飲料は、トマトに含まれる成分がメタボリック症候群対策に期待ができるとの研究が発表された影響が継続しており、トマトジュースが売上を大きく伸ばしました。また、「フルーティトマト」や「ベジスタート」、ギフト商品等も貢献したことにより、デルモンテ飲料全体として前年同期の売上を上回りました。この結果、部門全体としては、前年同期の売上を大きく上回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用分野で、ギフト商品や家庭用容器が苦戦したものの、加工用分野で、新規顧客を開拓したことにより、前年同期を上回りました。国産ワインは今年度も「ソラリス」シリーズが「国産ワインコンクール2012」で金賞を受賞し、引き続き高い評価を得、売上を伸ばしました。輸入ワインも市場開拓に取り組んだ結果、前年同期を上回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は787億2百万円（前年同期比106.7%）、営業利益は33億3千1百万円（前年同期比152.8%）と、増収増益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

臨床診断薬、衛生検査薬は好調に推移したものの、ヒアルロン酸が前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

この結果、国内 その他事業の売上高は102億1千3百万円（前年同期比99.3%）、営業利益は7億5千7百万円（前年同期比88.3%）と、ともに前年同期を下回りました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外向けの輸出販売及び海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れ、当社のブランド力を生かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かい対応を行ってまいりました。この結果、家庭用、加工・業務用分野共に、前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、最需要国であるロシアをはじめ、重点市場である、ドイツ、フランス、イギリスでも順調に売上を伸ばし、現地通貨ベースで2桁成長を達成しました。

アジア・オセアニア市場は、アセアン地域が成長を維持し、現地通貨ベースで前年同期の売上を上回りました。この結果、部門全体として好調に推移しました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

香港は売上を伸ばしましたが、韓国市場が落ち込み、部門全体として、前年同期の売上を下回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

医師ルート向けの売上が引き続き好調に推移したことから、現地通貨ベースで伸ばいたしました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は243億4千7百万円（前年同期比102.1%）、営業利益は45億8千9百万円（前年同期比107.5%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、アジア系マーケットにとどまらず、ローカルマーケットへの浸透を進め、順調に売上を伸ばしました。また、欧州、オセアニアでは引き続き日本食ブームが拡大しており、各地域で順調に推移いたしました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は437億3千万円（前年同期比100.0%）となりました。営業利益は19億1千6百万円（前年同期比93.4%）と、減益となりました。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上高は1,471億5千8百万円（前年同期比103.8%）、営業利益は103億5千6百万円（前年同期比110.6%）、経常利益は92億7百万円（前年同期比112.6%）、四半期純利益は48億5百万円（前年同期比109.4%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,110億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ227億4千6百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、有価証券が減少したことによるものであります。固定資産は1,945億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億8千2百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産、投資有価証券が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,056億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ257億2千9百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は433億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ177億4千8百万円減少いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が減少したことによるものであります。固定負債は1,021億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億9千9百万円減少いたしました。これは、繰延税金負債、役員退職慰労引当金等が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,454億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ185億4千8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,601億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億8千1百万円減少いたしました。これは主に、自己株式、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.9%（前連結会計年度末は50.0%）となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物の四半期末残高は、208億3千2百万円となりました。これは、前連結会計年度末に比べ現金及び現金同等物が251億4百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、110億6百万円の収入となりました。これは、法人税等の支払、たな卸資産の増加、売上債権と仕入債務の増減による運転資金減少などの支出があったものの、税金等調整前四半期純利益に減価償却費等の非資金項目などを加算した営業活動による収入が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、79億8千5百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、272億4千5百万円の支出となりました。これは主に、社債の償還による支出、自己株式の取得による支出、配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、国内 食料品製造・販売事業において飲料部門の販売が想定より好調であることを勘案し、売上高、営業利益、経常利益をそれぞれ引上げております。また、特別損失につきまして当第2四半期連結累計期間に発生した投資有価証券評価損の影響を勘案し、当期純利益は修正しておりません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成24年6月26日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

平成24年4月27日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	291,000	19,000	16,700	10,000	49.82
今回修正予想 (B)	296,000	19,500	17,200	10,000	49.82
増減額 (B - A)	5,000	500	500	—	—
増減率 (%)	1.7	2.6	3.0	—	—
前期実績	283,239	17,764	15,242	8,983	43.80

※ 為替レート的前提 前回発表予想 通期 USD 78.0円 EUR 100.0円
今回発表予想 通期 USD 78.8円 EUR 100.6円

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

連 結 (新規) NUTRI-LINK LIMITED (株式の取得)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,941	23,069
受取手形及び売掛金	42,274	43,684
有価証券	20,131	135
商品及び製品	21,377	21,852
仕掛品	9,386	9,561
原材料及び貯蔵品	3,462	3,600
繰延税金資産	4,283	5,118
その他	5,171	4,264
貸倒引当金	△223	△229
流動資産合計	133,804	111,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,241	40,256
機械装置及び運搬具(純額)	33,485	31,546
土地	19,764	19,629
リース資産(純額)	158	130
建設仮勘定	3,356	3,336
その他(純額)	2,163	3,069
有形固定資産合計	99,170	97,970
無形固定資産		
のれん	23,514	22,872
その他	3,365	3,555
無形固定資産合計	26,879	26,427
投資その他の資産		
投資有価証券	59,536	58,232
長期貸付金	589	743
繰延税金資産	1,538	1,524
その他	11,631	11,379
貸倒引当金	△1,779	△1,693
投資その他の資産合計	71,517	70,186
固定資産合計	197,567	194,584
資産合計	331,371	305,642

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,474	16,114
短期借入金	6,412	7,290
1年内償還予定の社債	20,000	—
リース債務	68	59
未払金	11,756	10,908
未払法人税等	980	2,256
賞与引当金	2,154	2,495
役員賞与引当金	81	38
災害損失引当金	50	—
工場閉鎖損失引当金	209	209
その他	3,927	3,994
流動負債合計	61,114	43,366
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	17,600	17,600
リース債務	105	87
繰延税金負債	2,688	2,550
退職給付引当金	4,198	4,286
役員退職慰労引当金	1,114	950
環境対策引当金	336	325
その他	6,860	6,303
固定負債合計	102,903	102,104
負債合計	164,018	145,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	21,209	21,209
利益剰余金	162,149	163,892
自己株式	△5,275	△10,292
株主資本合計	189,682	186,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△392	△532
繰延ヘッジ損益	15	12
為替換算調整勘定	△22,618	△26,510
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△924	△854
その他の包括利益累計額合計	△23,920	△27,884
新株予約権	179	179
少数株主持分	1,410	1,468
純資産合計	167,352	160,171
負債純資産合計	331,371	305,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	141,834	147,158
売上原価	83,927	85,492
売上総利益	57,907	61,666
販売費及び一般管理費	48,543	51,309
営業利益	9,363	10,356
営業外収益		
受取利息	53	56
受取配当金	311	392
持分法による投資利益	144	190
受取賃貸料	243	234
為替差益	785	787
その他	413	487
営業外収益合計	1,952	2,148
営業外費用		
支払利息	706	803
デリバティブ評価損	764	834
その他	1,668	1,658
営業外費用合計	3,139	3,296
経常利益	8,176	9,207
特別利益		
有形固定資産売却益	4	26
投資有価証券売却益	15	—
補助金収入	—	854
受取賠償金	—	635
退職特別加算金戻入益	65	—
特別利益合計	86	1,517
特別損失		
固定資産減損損失	427	—
固定資産除却損	39	304
固定資産圧縮損	—	854
投資有価証券評価損	43	1,429
ゴルフ会員権評価損	3	10
関係会社社名変更費用	70	—
災害による損失	473	—
その他	83	68
特別損失合計	1,141	2,668
税金等調整前四半期純利益	7,121	8,057
法人税等	2,696	3,188
少数株主損益調整前四半期純利益	4,424	4,868
少数株主利益	33	63
四半期純利益	4,391	4,805

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,424	4,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	△234
繰延ヘッジ損益	△3	△2
為替換算調整勘定	△6,065	△3,879
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	64	70
持分法適用会社に対する持分相当額	△130	△29
その他の包括利益合計	△6,011	△4,075
四半期包括利益	△1,587	792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,608	735
少数株主に係る四半期包括利益	21	56

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,121	8,057
減価償却費	5,914	5,805
固定資産減損損失	427	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	153	207
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△39	△165
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△240	△50
受取利息及び受取配当金	△364	△448
支払利息	706	803
持分法による投資損益 (△は益)	△144	△190
有形固定資産売却損益 (△は益)	△12	△35
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15	—
受取賠償金	—	△635
有形固定資産除却損	141	379
投資有価証券評価損益 (△は益)	44	1,429
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,759	△2,351
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,156	△1,607
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,326	1,228
その他	470	△27
小計	10,572	12,399
利息及び配当金の受取額	551	659
利息の支払額	△686	△864
賠償金の受取額	—	635
法人税等の支払額	△3,384	△1,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,052	11,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,036	△6,087
有形固定資産の売却による収入	30	92
無形固定資産の取得による支出	△575	△523
投資有価証券の取得による支出	△202	△541
投資有価証券の売却による収入	22	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△343
貸付けによる支出	△246	△444
貸付金の回収による収入	115	113
その他	△152	△253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,045	△7,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	49	1,001
長期借入れによる収入	445	—
長期借入金の返済による支出	△100	△100
社債の償還による支出	—	△20,000
自己株式の取得による支出	△14	△5,017
配当金の支払額	△3,082	△3,081
少数株主への配当金の支払額	△6	△8
その他	△39	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,747	△27,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,600	△879
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,341	△25,104
現金及び現金同等物の期首残高	28,855	45,867
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	69
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,513	20,832

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、東京証券取引所における市場買付の方法により平成24年6月22日までに普通株式 5,259,000株、4,999百万円の取得を行いました。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	73,205	4,161	20,886	43,581	141,834	—	141,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	567	6,119	2,966	141	9,794	(9,794)	—
計	73,772	10,280	23,853	43,722	151,629	(9,794)	141,834
セグメント利益	2,180	857	4,271	2,051	9,360	3	9,363

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	78,148	4,044	21,327	43,638	147,158	—	147,158
セグメント間の内部売上高 又は振替高	554	6,168	3,019	92	9,834	(9,834)	—
計	78,702	10,213	24,347	43,730	156,992	(9,834)	147,158
セグメント利益	3,331	757	4,589	1,916	10,595	(238)	10,356

(注) 1. セグメント利益の調整額 △238百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。